

「福島第一原発事故にともなう放射線健康不安と精神的影響の実態および地域住民への支援方策」

福島県の人々は、福島第一原発事故にともなう放射線の健康影響への不安に加えて、生活や将来に関して多くの不安を抱えています。このような不安の中で人々が健康に、自分らしい生活を生きること、さまざまな立場から議論し、どう支援することができるのかについて、

【日時】

2014年2月15日(土) 13:00-17:00

【場所】 福島県立医科大学大講堂

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

【電話】 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座

024-547-1180

【コーディネーター】

川上 憲人 (第二部連携会員、東京大学教授)

安村 誠司 (第二部連携会員、福島県立医科大学教授)

- 福島第一原発事故に対する日本学術会議の活動
春日 文子 (日本学術会議副会長)
- 原子力発電所事故がもたらす精神的影響 (逐次通訳あり)
Evelyn J Bromet (米国ニューヨーク州立大学特別教授)
- 3.11後の放射線健康影響情報への不信とその要因
島菌 進 (第一部会員、東京大学名誉教授)
- 県民健康管理調査からみた避難者のこころの健康問題
矢部 博興 (福島県立医科大学教授)
- 福島プロジェクト：放射線ストレスへの心理支援
秋山 剛 (NTT東日本関東病院精神科部長)
- 話題提供 地域の現場からみた福島県被災者の多様な不安と困難
草野 つぎ (福島県会津保健福祉事務所専門保健技師)

連絡先 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
TEL: 03-5841-3364 FAX: 03-5841-3392
メールアドレス kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

協力 平成25年度文部科学省科学研究費新学術領域「社会階層と健康」
平成25年度環境省「福島県における放射線健康不安の実態把握と効果的な対策手法の開発に関する研究」班

